

◆みんながよネット http://www.minkayo.com ◆(配布店は「ちちんき」参照トヤ)

みんなの歌謡曲

第140号

無料

発行元:
オフィスの音
香

安松

〒270-2251
松戸市金ヶ作43-118
(090) 1558-4391
FAX. 047 (388) 3619

今年、母国・韓国そして第2の故郷日本を歌手生活30周年を迎えたモンゲンさん。渾身の勝負曲「ひとつ星」(詩・円寛/曲・松川秀幸 編 伊戸の志)を5月5日にリリースします。何と云ってその飾りのない人柄、そして人間さしい性格な方が人気です。今回は、その人間・モンゲンに迫るべくインタビューしました。

—まず、日本来る前にも歌っていたのですか？
モンゲン そうですね。それこそ歌って飯を食べるため必死で歌っていましたね。その時は今はじき歌を「お前何のために歌を歌っているの？」と聞かれた時に、自分のためです。それはまたまたと聞かれました。当時の自分は必死で、それ以外の考えを余裕も無かったです。——ところで、日本に来るキッカケは？
モンゲン 実は僕は一卵性

双生児で、双子の兄の嫁さんが古い師としてとて有名なんです。それで、日本から占ってもらうために、お客が来たほどでした。その時は今とは違って、浦島太郎のようでした(笑)。その時は日本語は話せなくて、ウチの健康ランドで歌わなさいか。——と聞いて、もう一度日本で歌ってみたいと思いました。——ありがた話ですね。モンゲン そうなんです。実は、日本でCDデビューもそうしたお客様が「この子、歌が手いから何か

したい」という方がお金を集めて下さり、ようやく実現できたんです。本当にありがたいと思いました。そのデビュー曲は今でも大に歌っています。——ちなみに著名のモンゲンはどういう意味？
モンゲン それは日本という将棋の手をかけた時に守ることを指します。——夢と希望を持って！
モンゲン 「ひとつ星」

—それだけ儲かったというところは、両親にも返返しできませんでした。モンゲン もちろん、仕送りもしていました。自分ではそう思っていました。ところが父には「まだ誰のために歌を歌うのか？」と聞かれました。——韓国では大きなキャパレーの生バンドで歌うことが多かったんです。——日本では最初、健康ランドからでした。それが、ビュッリしたのがカラオケなんです。それからカラオケのあるスナックや喫茶店でも歌っていました。——韓国は当時カラオケがなかったんです。——そう言われて改めて自分自身を振り返って、本業を振り返って、——どういった楽曲で？
モンゲン やり、負ける男だ、という力強いメッセジが込められた人生の応援歌なんです。——最後に抱負を。



☆モンゲン プロフィール☆

本名：金 後鍾 (キムフジュン)
出身地：韓国
血液型：O型
趣味：旅行・登山・ドライブ・ゴルフ
平成17年：活動拠点を日本へ移し、モンゲンと改名し活動を始める
平成18年：「じよんがら夫婦節」で日本デビュー
平成20年：韓昇龍 (ハン スンヨン) に改名
平成23年：モンゲンとして再改名し活動中
平成24年：日本クラウン新人賞受賞
これまでに「生きてる限り」(2011年)、「涙の雨が降る」(2012年)、「関釜フェリー」(2013年)リリース。
「僕は体一つで韓国から来ました。何も無かったので気持ちだけで頑張ってきたんですよ。ですから、たまに自分のことを振り返り「よう、頑張ってるな」と思うこともありますよ。(笑)」
「スポーツは何でも出来ますが、今は1日2時間のランニングは欠かしていません。やはり、いい歌を歌うのは体がしっかりしていないと。」

—韓国の方は、ファッションな大切にしますか？
モンゲン その通りです。特に、自



咲かせて下さい！
あなたの力で！！
北の始発駅
詩・里村龍一／曲・星野麻衣子／編・川村栄二
金澤未咲
カップリング 隅田おんな川
好評発売中！ 月間セールスチャート18位で初登場！！
お問い合わせ 03-6228-3122/ウイングジャパン

ほどよい哀愁！
ほどよいラテン！
おしゃれな歌です！！
ヨコハマ・レイン
ざいま弘子
(作詩：仁井谷俊也／作曲：星桂三／編曲：板垣伸幸)
恋慕酒
(作詩・作曲：岸本健介／編曲：前田俊明)
好評発売中！ ウイングジャパン
☎03-6228-3122